

第3回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和6年6月18日(火) PM7:00～9:00
場 所 新城市役所4階会議室
出席者 委員27名 事務局3名

次第

- 1 会長あいさつ
 - 2 報告
 - (1) 令和6年度地域自治区予算事業の進捗状況について
 - 3 協議
 - (1) 令和7年度地域自治区予算事業の検討について
-

1 会長あいさつ

2 報告

- (1) 令和6年度地域自治区予算事業の進捗状況について
 - ・休耕地活用検討事業(地域再生プロジェクトメンバー募集チラシ)

3 協議

協議会の会議録署名

- ・定数29人のところ27人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 令和7年度地域自治区予算事業の検討について

(事務局説明)

- ・前回の地域協議会での意見に対しての市担当課の取り組みや意向を整理するとともに、地域自治区予算の実行団体による活動報告などを行った。

○主な意見

- 委 員 ケッターパークについて将来無人化したいとあるが、本当に実施可能か。スタッフが誰もいないところに子どもが遊んでケガしたらどうするのかということが絶対出てくると思う。そういうのはどう考えているのか。
- 団 体 今まで3年ほど活動してきて、最初の1年目は500名、次の年は400名、昨年度も400名の利用者があり、それに加え自転車の大会なども開催してきた。これまでのところ、大きなケガをした子どもはいないということがひとつの安心材料となっている。ただ、確かに心配であるため、最初のうちは子どもだけではなく保護者と一緒に来ていただくというルールを作りたいと考えている。あわせて、万が一何かあったときの対応や連絡先をどうするかなども含めて、今後協議して決めていきたい。

その後、地域計画の5つの柱ごとにグループにわかれ、令和7年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

- ・地域活動団体のメンバー呼びかけのチラシや東郷のホームページなどを活用して、住民に活動を知らせるにはどのようにしたらいいかを話し合った。新たに令和5年度に立ち上げた新規団体の活動内容をチラシで配布し周知したらどうか。それをただ周知するだけでは勿体ないので、新たに各地区でこんなことやりたいという団体がいたら、交付金が活用出来るという内容も含んだようなチラシを作り各戸に配ったらどうか。地域活動交付金の申請期間は例年12～1月なので、出来たら少し早めの10月末くらいまでにはチラシを配布出来たら良いと思う。また、今年度の新規団体の内、地域協議会から生まれた団体である、東郷わくわくコミュニティに関しては、呼び掛けのためのチラシの予算も交付金で取っているので、団体紹介のチラシは今年度は交付金団体が作成する予定となっている。

○主な意見

会長 地域活動交付金で予算立てするのか、それとも地域自治区予算として建議しているのか。

委員 まだそこまでは検討できていない。

柱2 守ろう

- ・今日の議題として3つあり、1つ目は昨年度からの引き継ぎ案件である、子どもの安全な通学について、2つ目はAEDのリースについて。この2つに関しては、今日は防災対策課の職員に来ていただいたので、本日は防災をテーマにすることにして、この2つのテーマは次回に持ち越すことにした。
- ・防災について、公助として市でどういう取り組みをされているのかを確認した。そして、能登半島地震により防災に関する市の取り組み方針や考え方は変わったかどうかという質問したところ、それに対しては、市長の方から新城で能登半島地震と同規模の災害が起こるという想定で防災対策を進めていくという話があったとのこと。また、ハザードマップを全世帯に配布していただいたり、防災対策課としてかなり力入っているという感じがしている。あとは細かなことになってくるが、災害が起きたときの避難所での対応、例えば食料品はどのくらい備蓄されているのか、どういう方法で備蓄されているのか、その辺も聞いた。総じて、非常に熱い議論になったけれども、時間が余りにもなさ過ぎた。防災対策課の皆さんには次回の会議にもぜひ来ていただきたい。

柱3 育てよう

- ・企画調整課の職員に来ていただき、現状の空き家物件については、市でサイトを作って、いろいろ動き出しているという話を聞いた。東郷地区でもサイト上に今2件の空き家が掲載されていて、上平井と緑が丘に1,500万円という物件が出ている。自分はよそから来た人間だが、その金額ではとても買えない。新規就農したい人たちは、出来れば賃貸で月に3万円ほどの物件を探している。そのマッチングというのが難しいと思っている。これまで育てよう

で考えてきたことは、休耕地や空き家の活用だが、やはりマンパワーが必要だということは、どこでも共通しているかと思う。現状住んでいる人たちでもどうにも解決できない休耕地の問題があるわけで、よそから来てもらって、その方たちの力を活用していくという方向で考えていかなければいけないと思っている。最近よく言われるのは、観光以上定住未満のような、交流人口を増やせないかと考えている。吉川地区では、移住してきた人が友達を呼び、新城を体験してもらいたいなことが起きている。新城はインターチェンジもあるし、もつくる新城で観光バスも来るのでアクセスは良い。車でもアクセスが良く、友達が名古屋や大阪から来て新城を体験してくれて、その友達が移住するという連鎖反応も起きつつあるらしい。その流れを東郷でも起こしたい。ではどうすればいいのかということころまでは、まだ全然話が進んでいないが、今年度の地域自治区予算で進んでいく東郷地域再生プロジェクトが今年の9月から始まるので、休耕地や空き家の活用に関心のある人が集まってきて、来年度に何かやろうかという話が生まれるのではないかと期待している。

○主な意見

- 会 長 令和7年度の向けての建議はあるのか。育てようの分野で言うと、東郷学び学校の予算があがってくるのか。
- 事務局 東郷学び学校に関しては、現状と同じ予算で一旦予算積算させていただき、今後実行団体の方から要望などあれば、更新していくということで、まずは今年度と同様の予算額でお願いしたいと要望があった。
- 委 員 休耕地を考える会に関連する予算を来年度どのくらい積算するのかということを考えないといけないので、来月にまた話し合いたい。

柱4 学ぼう

- ・本日、設楽原歴史資料館の館長に来ていただいて、現在の市で構想している夢と希望を教えていただいた。その構想に私たちがどう関わっていけるかということだが、まだ何も計画出来ていない状況で、また鳳来中部地域協議会の方とも話を詰めていかなければいけない。2〜3か月くらいで決めなければいけないので、なるべく早急に考えていきたい。

○主な意見

- 会 長 個人的な意見だが、鳥居強右衛門も450周年で有海でイベントなどをやるつもりでいる。出来れば有海側の磔場から長篠城址の方へ向かって大声大会なども良いのではと考えている。そのことも参考にして欲しい。

柱5 楽しもう

- ・2団体に来ていただき話を聞かせていただいた。まず、東郷PR事業に関しては、今年度と同じような形で来年度も予算付けを行っていくことになると思われる。ただし、今年度の予算額は1年に限った話であり、段階的に減らしていくという話であったので、全体予算との調整もさせていただきながら、どのくらい削っていくかは今後詰めていきたい。事務局の方で予算を積算させていただき、その上で全額受け入れるのか、3分の2にするのか、半分にするのか、5分の1なのかということころを検討していきたい。また、スポーツバイク普及推進事業についても話を聞かせていただいた。実行団体の活動費用は来年度も継続し出すべきであろう

ということになったが、こちらも賠償保険の関係など無人化に伴う整備等あると思うので、全額受け入れるかどうかを置いておいて、一旦事務局の方で予算積算をしていただきたい。その中でこれが必要ではないかとか、これは不要ではないかというところを検討したい。賠償保険については、今どういった補償状況であるのかが分からないので、次回楽しもうの中だけでいいので、内容を資料としていただきたい。また、中学生や高校生、地域に対し、認知度が向上していない現状があるという中で、地域計画の楽しもうの柱の中でわくわく屋外イベント推進があるので、そこと絡めて、令和7年度に予算化出来るような形でグループの中で話し合っていきたい。そこが次年度新規事業と言っているのか分からないが、新たな取り組みとなるので、今後精査していきたい。

○主な意見

会 長 過去にコロナで出来なかった屋外イベントがあったと思う。その辺りも検討の1つに入れてもらえるとありがたい。予算もある程度作れていたはずなので、検討の1つにさせていただけるとありがたい。

委 員 次回までに過去の資料としてそれを出していただけると検討が出来るので、会長からの要望ということでよろしくお願ひしたい。

事務局 当初計画していたのは、火起こし体験・ドラム缶風呂に入ろうといった内容だった。それが、巡り巡って今の東郷学び学校に変化した経緯があるが、ドラム缶風呂の予算を資料として出せばいいか。

委 員 このイベントというのが、ケッターパークの周知や認知向上を含めた屋外イベントであり、地域の子どもから大人が参加できるイベントになるので、それが効果的であるということであれば資料として出していただければ、実行委員会の皆さんがやっていただけると思うので、とりあえず資料だけ一度出していただきたい。

事務局 イメージとしては、今までの東郷のケッターパークやホームページも含め、様々な東郷の活動をPRできる屋外イベントを実施するというものか。

委 員 主軸となるのはケッターパークの認知向上だが、それとあわせて地域の方が参加しやすいようなイベントなので、それが他の団体とのコラボなのか、それとも別のことなのかというのは、今後の検討次第になってくるので今ここで一概には答えられない。

【21:00 終了】